

# 7. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

## (1) 効果測定実施概要

今回採択した4事業全てに対して、以下の項目によるアンケート調査を実施。アンケート内容については、より効果的なものとなるように、沖縄県と話し合いのうえ設定した。昨年度同様、オンライン化しスマートフォンで簡単に回答ができる仕様とした。また、海外からの参加が多いイベントについては、より多くの回答を促すことができるよう英語版を作成した。効果測定を行うにあたり、各事業で共通する調査項目を作成し各採択事業者へデータで調査票送付し回収。その後、押見先生にて調査結果の分析と効果測定を実施した。

### 【アンケート調査表】

2023年 ●月 ●日

イベント支援事業者様
沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課
本アンケートは、沖縄県でのスポーツツーリズム推進に向けた情報を収集することを目的に、本大会の参加者の皆様を対象に実施しております。ご回答は匿名で全て統計的に処理しますので、皆様にご迷惑をおかけすることは絶対にごえません。調査の主旨をご理解いただき、率直なご回答をお寄せいただけますよう、お願いいたします。

**ご自身についてお伺いします。選択問題につきましては、該当番号に○をご記載ください。**

1. 性別	1 男性 2 女性 3 答えたくない
2. 年齢	10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代以上
3. 居住地	1 沖縄県外（都道府県 ) 2 沖縄県内
4. 職業	1 会社役員                      2 会社員                      3 公務員 4 自営業                          5 自由業                      6 派遣社員 7 パート/アルバイト              8 専業主婦/主夫              9 学生 10 無職                              11 その他 (                      )
5. 同伴者	1 なし 2 友人 3 家族 4 その他 (                      )
6. 参加類型	1 参加者 2 関係者 3 観戦者
7. イベントに <u>参加しない</u> 同伴者（家族や友人等）の人数 (                      ) 人	

8. 本イベントへの参加回数を教えて下さい。

1. 初めて 2. 2回目
---------------

9. 本イベントにどの程度満足されていますか。

非常に満足    満足            どちらでもない    不満足            非常に不満足  
5 ..... 4 ..... 3 ..... 2 ..... 1

10. 本イベントの内容はどの程度満足されていますか。

	非常に満足	満足	どちらとも いえない	不満足	非常に不満足
イベント会場・設備の質	5	4	3	2	1
イベント会場へのアクセス	5	4	3	2	1
イベントオペレーション（進行・運営）	5	4	3	2	1
イベントスタッフの対応	5	4	3	2	1
イベントに関する案内や情報提供の質	5	4	3	2	1
イベント参加費	5	4	3	2	1
安全対策	5	4	3	2	1

11. 本イベントに参加された理由を教えてください。（複数回答可）

1. 沖縄での開催だから    2. 好きな種目だから    3. 他にないイベントだから    4. 誘われたから 5. その他 (                      )
-----------------------------------------------------------------------------------------------

# 7. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

## (1) 効果測定実施概要

12. 本イベントの情報を主にどこから入手されましたか。(複数回答可)

1. 新聞 2. テレビ 3. ラジオ 4. 雑誌 5. イベントHP 6. SNS 7. チラシ 8. ポスター  
9. 口コミ 10. その他 ( )

13. 本イベントに限らず、次年度もスポーツを目的とした沖縄旅行をしたいですか。

1. はい 2. いいえ

14. 参加したいスポーツを教えてください。(Q13で「はい」と回答した方のみ回答) (複数回答可)

1. マリンスポーツ系イベント 2. マラソン系イベント 3. サイクリングイベント 4. トライアスロン  
5. ウォーキングイベント 6. チームスポーツイベント 7. 武道系イベント 8. eスポーツ系イベント  
9. その他 ( )

15. 今回の旅行はどのような形態で旅行されましたか。

1. 個人旅行(交通・宿泊等を自分で手配)  
2. パッケージツアー(団体旅行・フリープラン型を含む)

**今回の沖縄滞在での消費金額についてお伺いします。以下の項目について、1人当たりの金額(円)をお知らせください。**

16. 個人旅行(Q15で個人旅行と回答した方のみ回答)

ご自宅から沖縄までの往復交通費(円)をご記入ください。

例) 50000

往復交通費計: 円 ※ご自宅から沖縄までの交通費

17. 個人旅行(Q15で個人旅行と回答した方のみ回答)

沖縄での宿泊費合計(円)をご記入ください。

例) 20000

宿泊費計: 円

18. パッケージツアー(Q15でパッケージツアーと回答した方のみ回答)

ツアーの参加料金合計(円)をご記入ください。

例) 120000

ツアー参加料金: 円

19. パッケージツアー(Q15でパッケージツアーと回答した方のみ回答) (複数回答可)

ツアーに含まれている内容を教えてください。

1. スポーツ大会・イベント出場券、観戦チケット
2. 県内での観光
3. 昼食
4. 夕食
5. レンタカー
6. 公共交通機関(飛行機を除く)

## 7. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

### (1) 効果測定実施概要

20. ★旅費以外の沖縄県内での消費

沖縄県内での交通費（円）をご記入ください（レンタカーを含む）。

県内交通費： 円 ※レンタカーを含む

21. ★旅費以外の沖縄県内での消費

沖縄県内での土産・買物費（円）をご記入ください。

土産・買物費： 円

22. ★旅費以外の沖縄県内での消費

沖縄県内での飲食費（円）をご記入ください。

飲食費： 円

23. ★旅費以外の沖縄県内での消費

沖縄県内での娯楽費（円）をご記入ください。

娯楽費： 円

24. ★旅費以外の沖縄県内での消費

本イベントの大会参加費・観戦費（円）をご記入ください。

大会参加費・観戦費： 円

※ツアー費に参加・観戦費が含まれている場合はその金額は記入しないで下さい。

25. ★旅費以外の沖縄県内での消費

上記の項目以外での消費（円）がございましたらご記入ください。

その他： 円

#### 沖縄の観光について

26. 沖縄を訪れたのは何回目ですか。（○は1つ）

1. 今回が初めて 2. 2～4回 3. 5～9回 4. 10回以上 5. 沖縄県内在住

27. 今回の沖縄での宿泊日数を教えてください。

宿泊日数： 泊

28. 本イベント参加以外はどのように過ごされましたか。（複数回答可）

1. 特になし 2. 観光（スポーツアクティビティを含む） 3. 観光（スポーツアクティビティを含まない）  
4. その他（ ）

29. どのようなスポーツアクティビティを行いましたか。（Q28で観光（スポーツアクティビティを含む）と回答した方のみ回答）

（複数回答可）

1. マラソン 2. サイクリング 3. ゴルフ 4. マリンスポーツ 5. その他（ ）

30. 沖縄県は、豊かな自然と温暖な気候に恵まれるなど、スポーツにふさわしい環境にあります。その特徴を活かした「スポーツアイランド沖縄」の形成のため、スポーツツーリズムを促進する様々な事業を行っているところです。そこで、「スポーツアイランド沖縄」という言葉を知っていますか。

1. はい 2. いいえ

# 7.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

## (2) イベント参加者アンケート回答結果

### ①株式会社ジャパンリーグ

アンケート回答数：日本語61件 英語15件

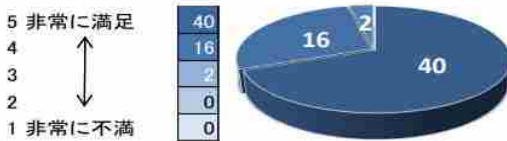
### <採択事業簡易調査結果> ジャパンウィンターリーグ

#### ジャパンウィンターリーグ

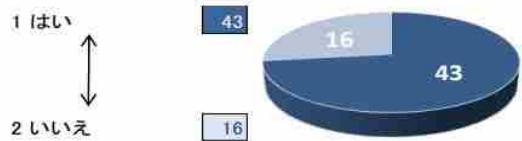
【定着・付帯枠】

総参加者数	99人	(目標人数	160人)
県外参加者数	58人	(目標人数	95人)
海外参加者数	32人	(目標人数	50人)
付帯参加者	2,000人	(目標人数	19600人)
県外集客達成率	61.1%		
海外集客達成率	64.0%		
付帯集客達成率	10.2%		

■あなたは、本大会にどの程度満足されていますか？  
平均値 / 4.67



■あなたは、本イベントに限らず、次年度もスポーツを目的とした沖縄旅行をしたいですか？

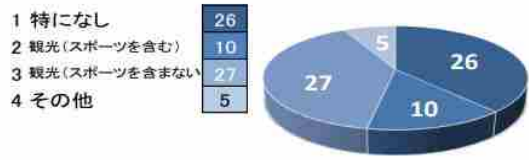


■旅行費用平均(59サンプル)	211,186 円	※沖縄までの航空運賃と宿泊費などの旅費平均値
■県内消費平均(59サンプル)	302,738 円	※大会参加費、土産、観光、移動、飲食などの県内消費平均値
■宿泊数平均(59サンプル)	25.68 泊	※沖縄での合計宿泊数の平均値

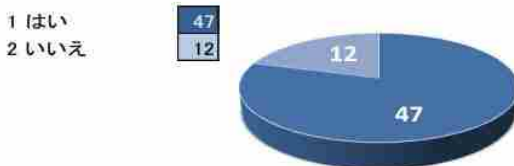
#### ■沖縄訪問回数



#### ■本イベント参加以外はどのように過ごされましたか？



#### ■「スポーツアイランド沖縄」という言葉は知っていますか？



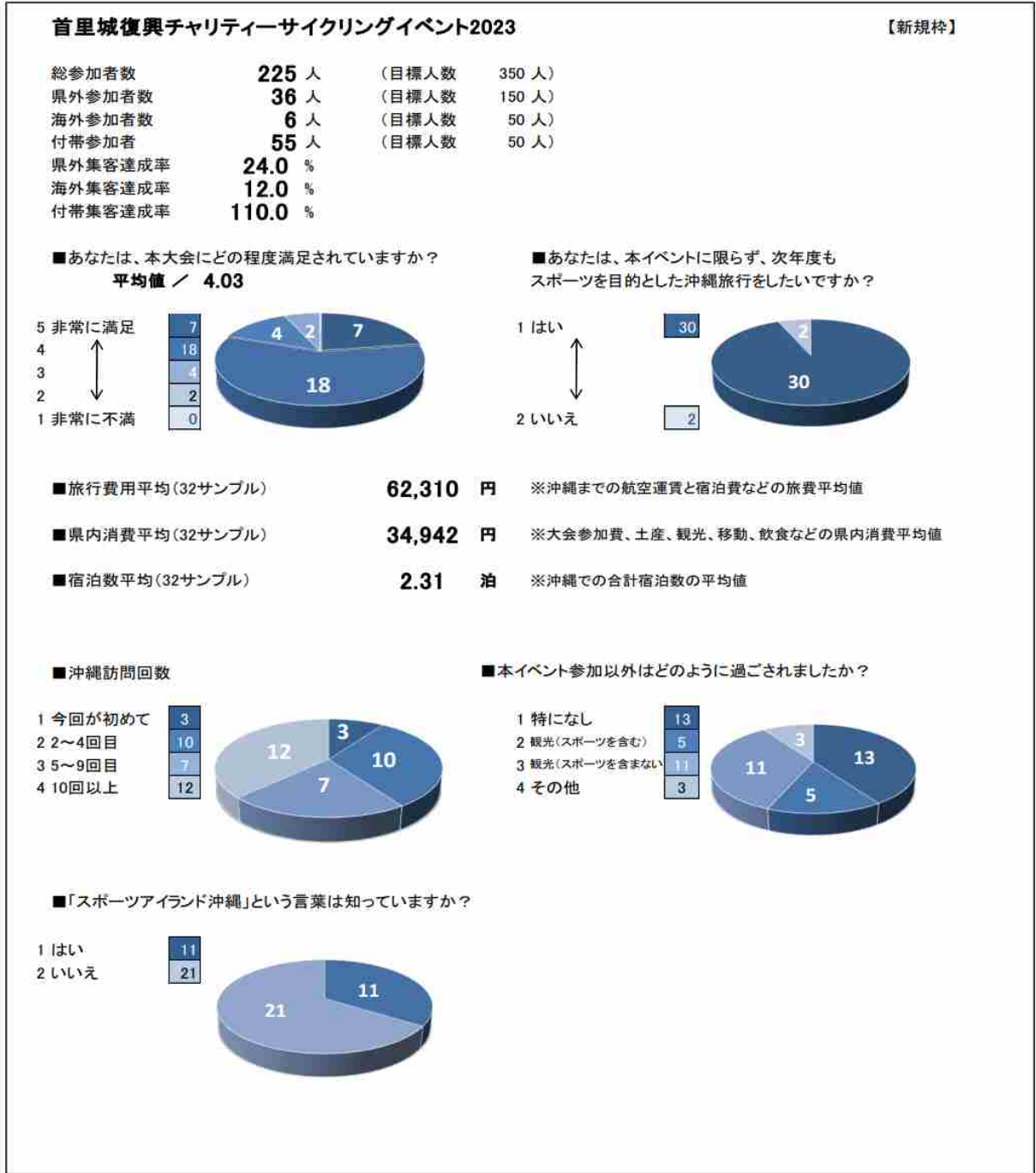
# 7.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

## (2) イベント参加者アンケート回答結果

②一般社団法人沖縄県サイクルツーリズム推進協会  
アンケート回答数：142件（日本語のみ）

<採択事業簡易調査結果>

首里城復興チャリティーサイクリングイベント 2023



# 7. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

## (2) イベント参加者アンケート回答結果

③ 沖縄ビーチスポーツフェスティバル実行委員会  
アンケート回答数：85件（日本語のみ）

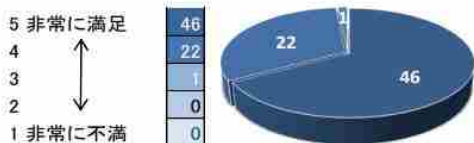
### <採択事業簡易調査結果> 沖縄ビーチスポーツフェスティバル 2024

沖縄ビーチスポーツフェスティバル2024

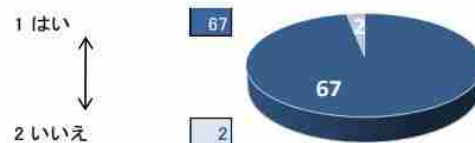
【新規枠】

総参加者数	250 人	(目標人数	1,000 人)
県外参加者数	100 人	(目標人数	500 人)
海外参加者数	0 人	(目標人数	0 人)
付帯参加者	50 人	(目標人数	200 人)
県外集客達成率	20.0 %		
海外集客達成率	- %		
付帯集客達成率	25.0 %		

■あなたは、本大会にどの程度満足されていますか？  
平均値 / 4.65

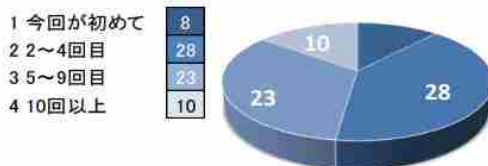


■あなたは、本イベントに限らず、次年度もスポーツを目的とした沖縄旅行をしたいですか？

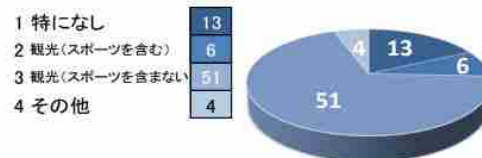


■旅行費用平均(69サンプル)	64,759 円	※沖縄までの航空運賃と宿泊費などの旅費平均値
■県内消費平均(169サンプル)	42,881 円	※大会参加費、土産、観光、移動、飲食などの県内消費平均値
■宿泊数平均(69サンプル)	3.28 泊	※沖縄での合計宿泊数の平均値

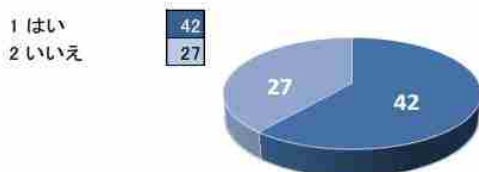
■沖縄訪問回数



■あなたは、大会参加以外に沖縄で観光をされましたか？



■「スポーツアイランド沖縄」という言葉は知っていますか？



# 7. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

## (2) イベント参加者アンケート回答結果

### ④ 株式会社琉球コラソン

アンケート回答数：日本語48件 英語41件

#### <採択事業簡易調査結果>

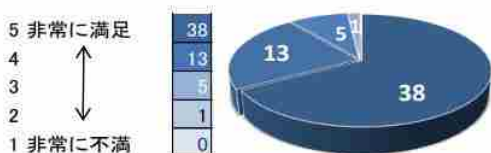
#### ハンドボール冬季合宿

ハンドボール冬季合宿

【新規枠】

総参加者数	1,100 人	(目標人数 1,200 人)
県外参加者数	30 人	(目標人数 100 人)
海外参加者数	100 人	(目標人数 50 人)
付帯参加者	770 人	(目標人数 1,000 人)
県外集客達成率	30.0 %	
海外集客達成率	200.0 %	
付帯集客達成率	77.0 %	

■あなたは、本大会にどの程度満足されていますか？  
 平均値 / 4.54



■あなたは、本イベントに限らず、次年度もスポーツを目的とした沖縄旅行をしたいですか？

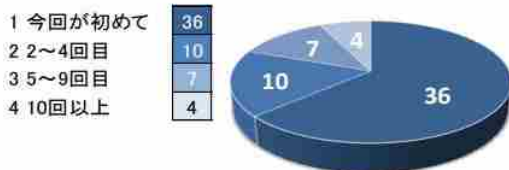


■旅行費用平均(57サンプル) **70,307 円** ※沖縄までの航空運賃と宿泊費などの旅費平均値

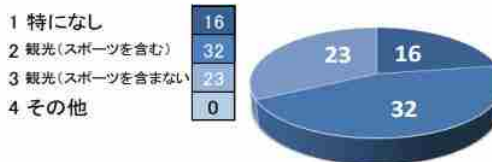
■県内消費平均(57サンプル) **48,780 円** ※大会参加費、土産、観光、移動、飲食などの県内消費平均値

■宿泊数平均(57サンプル) **5.28 泊** ※沖縄での合計宿泊数の平均値

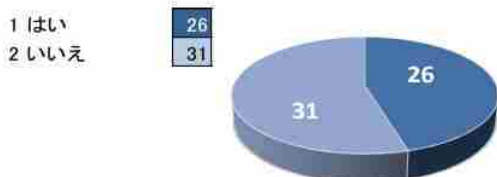
■沖縄訪問回数



■あなたは、大会参加以外に沖縄で観光をされましたか？



■「スポーツアイランド沖縄」という言葉は知っていますか？



## 7. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

### (3) 過去のスポーツイベントモデル事業について自走化状況の把握・報告

昨年度、定着化枠支援を行った「沖縄フレスコボールキャンプ」や「ちゅらうみ海道サイクリング」については、今年度は補助金無しの事業開催となり、新たに自走化を果たしたイベントとなった。

過年度自走化したスポーツイベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響を機に、開催が難しくなったイベントも多い。一方、平成24年度に支援をしたイベントを含めて、12事業者の直近開催が確認できた。

支援年度	過年度の自走化スポーツイベント	直近の実施
平成24年度	<b>Ryukyu Big Game Fishing Tournament</b>	<b>2023年 4月実施</b>
平成25年度	<b>国頭トレイルランニング大会</b>	<b>2023年 12月実施</b>
平成26年度	<b>国際トロピカルカップ国際少年サッカー大会</b>	<b>2023年 12月実施</b>
平成29年度	<b>「レキオバトル名護 vol.2」及び「タイフェスタ in 名護2017」</b>	<b>2024年 3月実施</b>
平成30年度	<b>おきなわマラソン</b>	<b>2024年 2月実施</b>
平成30年度	<b>沖縄100Kウルトラマラソン</b>	<b>2023年 12月実施</b>
令和2年度	ビーチサッカー沖縄カップ	2020年度より実施無し
令和2年度	アジア e スポーツツーリズム	2020年度より実施無し
令和2年度	女子サッカーフェスティバル	名前を変えて実施？
令和2年度	スバルタンレース	沖縄での開催はなし
令和3年度	<b>やんばるトレイルラン</b>	<b>2024年 4月実施（予定）</b>
令和3年度	<b>アスティーダフェスティバル2023</b>	<b>2023年 2月実施</b>
令和3年度	<b>第2回ワールド琉球古武道チャンピオンシップ</b>	<b>2023年 12月実施</b>
支援年度	昨年度支援イベント	実施
令和4年度	<b>ジャパンウィンターリーグ</b>	<b>2023年11月～12月実施</b>
令和4年度	スケートボードコンテスト「東京マガジンモーターズ presents 橋コン2022」	2022年度より実施なし
令和4年度	<b>沖縄フレスコボールキャンプ 2023</b>	<b>2023年 6月実施</b>
令和4年度	<b>ちゅらうみ海道サイクリング</b>	<b>2024年 1月実施</b>



# 8.採択事業概算報告書

## (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

イベント名：ハンドボール冬季合宿 ～冬でも温暖な沖縄の気候を有効活用～  
事業者名：株式会社琉球コラソン

ハンドボール冬季合宿実施報告書

### 1. 事業実施概要

#### 【事業目的】

県外および海外のハンドボールチームを誘致し、県内で合同キャンプ（合宿）を実施。継続して開催することで、キャンプ地としての定着を図るとともに、ハンドボールファンを中心とした沖縄スポーツ旅の拡大につなげる。

【事業内容】 県外チーム（日本リーグ）、海外チームおよび琉球コラソンによる合同トレーニング・エキシビジョンマッチ

- ・主催 株式会社琉球コラソン
  - ・後援 浦添市、沖縄市、エールクリエイト、沖縄ゼネラル、国際旅行社ほか
  - ・実施日程 令和6年1月23日（火）～27日（土）
  - ・実施場所 ANAアリーナ浦添（体育館）（ANAスポーツパーク浦添内）  
沖縄市体育館（コザ運動公園内）
  - ・実施内容 参加チームによる個別練習・合同練習、エキシビジョンマッチ  
ジュニア向けクリニック  
シニア（国内） ゴールデンウルブス福岡（30）  
シニア（海外） 台湾（男女/60）シンガポール・マカオ（男子/20）  
シニア（県内） 琉球コラソン（30）、県内女子チーム（40）、浦添高（女子/20）  
ジュニア（海外） 台湾（男子/20）  
ジュニア（県内） コラソンU12（男女/40）・U15（男子/20）、  
安慶田中（男子/20）、コザジュニア（男女/30）
- 参加料 キャンプ見学は無料、エキシビジョンマッチは大人1,000円高校生以下無料

	県内	県外 (国内)	県外 (海外)	付帯参加	合計
目標 (提案時)	50	100	50	1000	1200
実績	200	30	100	770	1100

#### ・集客人数増減理由

- ①県内：ジュニアチームが参加
- ②県外（国内）：全チームへの参加折衝を行ったが、アジア選手権へ主力選手派遣もあり、特に上位チームの参加が叶わず、1チームにとどまった。
- ③県外（海外）：台湾（男女・ジュニア）およびシンガポール・マカオ合同チームが参加することとなり、目標を上回った。
- ④付帯参加：練習日は中高生やジュニア父兄を中心に、80名/日程度が見学。試合日はジュニアチームの交流試合を組んだため、児童の保護者などの参加があったが、シニアチームについては、観客動員が見込める試合が組めなかったことと、告知が直前となったため、400名程度の観客動員にとどまった。県外からは視察や審判で訪れた人もいた。

## 8.採択事業概算報告書

### (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

ハンドボール冬季合宿実施報告書

#### 2. 実施報告

※画像は10点程とします。それぞれ画像の説明文を簡潔に記載してください。

##### ① イベント実施



##### 全7チームが集結

日本だけでなく台湾やシンガポールからもチームが集結。  
台湾からはジュニアチームも参加。



##### 合同練習

チームごとの個別練習に加え、2日目以降は合同練習も実施。時には技術を共有しつつ初日から腕を磨いた。25日はシニアの選手がジュニア選手のコーチ役で指導を行うクリニックを実施。



##### エキシビジョンマッチ

最終日はジュニア～シニアまで交流試合6試合を実施し、ウィンターキャンプを締めくくった。来場いただいた方に楽しんでいただけるよう、リーグ戦試合同様の演出で運営。

##### ② 募集広告/広報



##### 記者会見の実施

キャンプ開始前日の1月22日にシンガポール・マカオ代表とともに県庁記者クラブで会見を実施。  
新報・タイムスでの記事掲載のほか、OTVやQABニュースでも放送された。新聞テレビ面へ広告出稿し告知。  
1/23 (タイムス) 24 (新報)

# 8.採択事業概算報告書

## (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

### 2. 実施報告

※画像は10点程とします。それぞれ画像の説明文を簡潔に記載してください。



#### コラソンSNSの活用

コラソン公式X、フェイスブック、インスタグラムを通じて、ファンへ告知。詳細情報はコラソン公式ウェブサイト内にキャンプ特設ページを構築し、誘導。

#### ③収益化に向けた取組



#### エキシビジョンマッチ・チケット販売

販売枚数：256枚 無料入場：152枚  
リーグ戦のプロモーションでも行う子供を無料にすることで集客確保を狙ったが、集客につながりそうな魅力的なチーム参加ができなかったことと、周知期間が短かったため、参加は限定的であった。



#### チームからの参加料

参加チームからは、会場使用料として参加費を徴収することができた。



#### 協賛金

9社から協賛を獲得。  
エールクリエイト、沖縄ゼネラル、アカネクリエイション、国際旅行社、One Dream、天、コートドール、ベースミックス、Jネットレンタカー

#### キャンプグッズ（Tシャツ）販売

キャンプ限定Tシャツを作成、販売。  
来場者だけでなく、参加選手も購入

# 8.採択事業概算報告書

## (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

### 2. 実施報告

※画像は10点程とします。それぞれ画像の説明文を簡潔に記載してください。

#### ④その他



#### 会場装飾

.....  
キャンプのアピールを目的として、会場入口へののぼり設置やサイン・ポスター等を掲示。

沖縄市体育館では、会場内サイネージも活用して、キャンプを盛り上げた。

## 8.採択事業概算報告書

### (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

ハンドボール冬季合宿実施報告書

#### 3. 事業実施結果

##### 【取組に対しての結果・成果】

- ・当初想定していたリーグ上位チームの参加は日程の関係でかなわなかったものの、海外チームの参加を獲得できたほか、女子チーム、ジュニアチームの合宿も実施することができた。
- ・収入面ではキャンプスポンサー獲得のほか、参加チームからも参加費を徴収することができた。
- ・参加チーム確定が年末まで遅れたため、約1ヶ月での準備期間となり、会場調整、ホテル・バス手配、ツール制作などに苦労したが、参加者が満足できる受け入れを行うことができた。
- ・県内メディアでの報道を確保できたが、周知・告知時間が短く、十分な集客にはつながらなかった。

##### 【沖縄で開催する意識やメリット】

- ・参加者アンケートでは「沖縄での開催」は動機づけとなっていることが確認できた。（特に海外）
- ・アフターイベントでの観光についても関心は高く、オン（合宿）だけでなくオフ（観光・交流機会）を含めたスケジュールを組むことで参加者の満足度も高めることもでき、開催地の経済効果につながることも伺えた。
- ・アジアやジュニア（小～高）チームにとっては、沖縄の競技レベルが高く、参加は魅力的。

#### 4. 事業総括（自走化に向けての課題と今後の展望）

##### 【課題】

##### 1. 収益が見込めるチームの早期招聘につながる環境整備

###### <改善策>

- ①大きな大会と被らないスケジュールを考慮した開催時期の設定
- ②開催期間を長めにとり、カテゴリを分けたり、チーム事情も合わせる。  
ex. トップチーム1週目、ジュニア2週目など、自由に体育館を使用してもらう
- ③代表カテゴリチームの招聘 参加費用を一部負担してでも集客を見込めるチームを招聘

##### 2. 会場の確保

###### <改善策>

- ①早めの時期設定と行政への協力要請

##### 【今後の展望】

##### 1. 沖縄のハンドボールとコラソンの強みを活用

###### <具体的な目標・施策等>

- ①インバウンドチームの招聘  
台湾やシンガポールなどのアジアのチームはコラソンや日本の他チームと一緒にやる価値があると認識している。
- ②中・高・大学チームの招聘  
沖縄のジュニアチーム（小～高）の競技レベルは全国トップレベルにあるため、沖縄での合宿・対戦は参加の意義が高い。

# 8.採択事業概算報告書

## (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

イベント名：首里城復興チャリティーサイクリングイベント2023  
事業者名：一般社団法人沖縄県サイクルツーリズム推進協会

首里城復興チャリティーサイクリングイベント実施報告書

### 1. 事業実施概要

#### 【事業目的】

- 目的型（首里城復興チャリティー）サイクリングイベントを開催することで、
  - ①自転車に乗っていない方にサイクリングに関心を持ってもらい、サイクリングをはじめきっかけをつくる。
  - ②海外のサイクリストが沖縄に集い交流を図る機会となり、沖縄に愛着をもち沖縄サイクリングのリピーターになってもらうことを目指す。
  - ③これまでの県内サイクリングイベントになかった方法での観光事業者との連携を行い、地域・事業者とともにサイクルツーリズムの受入環境をつくると同時に地域活性化を図る。

#### 【事業内容】

- ・主催 首里城復興チャリティーサイクリングイベント実行委員会
- ・後援 沖縄県、一般財団法人沖縄美ら島財団、沖縄県サイクリング協会、南城市、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー、一般社団法人南城市観光協会
- ・実施日程 令和5年12月16日（土）～18日（月）
- ・実施場所 沖縄県南部・中部地域 メイン会場：南城市公共駐車場
- ・実施内容 個人、友達や家族などと各自のペースで走るファンライド（サイクリング）
- 参加料
  - ①首里城復興祈念コース 30km 6,000円（うち寄付金600円）
  - ②南部周遊コース 70km 10,000円（うち寄付金1,400円）
  - ③シーサイドロングコース 160km 15,000円（うち寄付金3,200円）
  - ④アフターサイクリング（ディープな南城市を旅するサイクリング） 15,000円
- ・集客人数 合計170人

	県内	県外 (国内)	県外 (海外)	付帯参加	合計
目標 (提案時)	100	150	60	50	360
実績	128	36	6	55	225

#### ・集客人数増減理由

- ①県外と海外が目標に対し、大幅減の理由として、第一回目の新しいイベントであるにもかかわらず事前の告知が遅くなり、募集期間（10/2～11/30）も短かったことが考えられる。
- ②県内は、目標より増えた理由として、首里城復興の応援が目的なので、普段サイクリングイベントに参加していない方が参加している、また、第一回目の新しいイベントに興味を持って頂いたことが考えられる。

# 8.採択事業概算報告書

## (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

### 2. 実施報告

※画像は10点程とします。それぞれ画像の説明文を簡潔に記載してください。

#### ① イベント実施



寄付金贈呈式

12/16(土)の首里城復興祈念コース30kmの途中で、寄付金贈呈式を首里城の守礼門前で実施した。



ニライカナイ橋を走る

12/17(日)の70kmと160kmコースでは、南城市のメインスポットであるニライカナイ橋を走行し、景色を楽しんで頂いた。



ガンガラーの谷ツアーでスタート

12/18(月)のアフターサイクリングは、南城市をディープに楽しめるコースで、サイクリング前にガンガラーの谷ツアーでスタートした。

#### ② 募集広告/広報



スポーツエントリーサイトにてPR

多くのサイクリストがイベント申込時に利用している「スポーツエントリー」にて、広告をうった。

# 8.採択事業概算報告書

## (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

### 2. 実施報告

※画像は10点程とします。それぞれ画像の説明文を簡潔に記載してください。



Meta広告で周知を図った

日本国内の男女35歳以上をターゲットに、第一回大会申込の周知を図り申込に繋げるため、Meta広告をうった。募集期間後半は、県内に絞り実施した。



新聞記事掲載

県内に参加をひろく呼びかけるため、沖縄タイムスおよび琉球新報に掲載いただいた。

### ③収益化に向けた取組



記念グッズ販売

第一回大会記念ジャージ・タオル・トートバッグを販売した。大会前は、事前にオンライン決済で受取は会場にて。また、大会中はブースを出して販売した。スポーツエントリーのサイトでも販売を行い、今回大会に参加していない方にも購入頂いた。



協賛営業

主に、県内企業に呼びかけ、協賛を頂いた。首里城復興を応援するイベントであること、エコな自転車で健康にも良いということで賛同いただいた。



## 8.採択事業概算報告書

### (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

首里城復興チャリティーサイクリングイベント実施報告書

#### 2. 実施報告

※画像は10点程とします。それぞれ画像の説明文を簡潔に記載してください。



#### レンタサイクル

のぼりの多い、首里城コースがあること、普段自転車に乗っていないでも楽しめるようにeBike（電動アシスト付自転車）のレンタルが可能であることをPRした。他のイベントより、多くの方にeBikeをレンタル頂いた。

#### ④その他



#### 南城city飯フェスとのコラボ

メイン会場の南城市公共駐車場では、半分の敷地で、南城city飯フェスが開催されており、一つのコースの昼食会場としてコラボした。他にも、飯フェスに出店している南城市の人気スイーツ店のシュークリームを、参加者全員にゴール後提供し、喜んで頂いた。

## 8.採択事業概算報告書

### (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

首里城復興チャリティサイクリングイベント実施報告書

#### 3. 事業実施結果

【取組に対しての結果・成果】

- ・首里城復興応援という目的型のイベントを実施することで、普段自転車に乗っていない方にも参加頂けた。また、サイクリストで普段長距離に参加されている方も、寄付金贈呈式を実施した短いコースに併せて参加頂けて、参加者増につながった。
- ・首里城で実施するイベントは多くあるが、サイクリングははじめてのことで、首里城関係者からも喜ばれた。歴史文化「首里城」×スポーツ「サイクリング」で、双方が新たなニーズを感じる事ができた。
- ・第一回目で沖縄では新しいかたちのサイクリングイベントにもかかわらず、告知が遅くなり、集客が十分にできなかった。特に、海外からは直近すぎて今回は参加が難しいとの声が多くあった。次年度は、早めに告知し、募集も早めに開始できるようすべきだという課題がはっきりみえた。

【沖縄で開催する意識やメリット】

- ・沖縄を象徴する首里城を絡めていること、また現在復元のため工事中であり、復興を応援できるイベントであるので、沖縄ならではのコンテンツであり、復元できるまでの過程を今だから見ることができる。
- ・冬でも暖かい沖縄で、サイクリングを楽しめる。

#### 4. 事業総括（自走化に向けての課題と今後の展望）

【課題】

（準備）

1. 告知が遅く、県外・海外からの集客がうまくいかなかった。

＜改善策＞

- ①告知を4月か遅くとも5月には行う。告知のために、日程と開催場所を確定させる。
- ②県外・海外でイベントの周知を行う。

（実施）

2. 各エイドステーションで、地域色をあまり出せなかった。

＜改善策＞

- ①各市町村の商工会などと連携する。

（終了後）

3. 海外・県外への事後広報について、取組めなかった。

＜改善策＞

- ①海外・県外のメディアを呼び、大会の様子を見てもらったり、実際に参加してもらう。

【今後の展望】

1. 県外・海外からの参加者を増やし、500名規模の大会を目指す。（参加料で500万円超）

＜具体的な目標・施策等＞

- ①海外の旅行社やサイクリング関係団体と連携し、ツアー団体で参加してもらう。
- ②県外の自転車ショップと連携し、自転車ショップのお客様に参加を呼び掛けてグループで参加してもらう。

2. 協賛営業を早めにスタートし、協賛金500万円を目指す。

＜具体的な目標・施策等＞

- ①協賛企業にメリットを感じてもらえる協賛メニューを考える。今回協賛頂いた企業からも意見を頂く。

3. 沖縄ならではの、各地域ならではの内容を盛り込み、参加者満足度をアップ。リピーターに繋げる。

＜具体的な目標・施策等＞

- ①首里城の中をガイドさんに案内してもらうツアーをメニューに入れる。
- ②各市町村のサイクルツーリズム事業と連携し、またエイドステーションなどでは商工会と連携する。

# 8.採択事業概算報告書

## (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

イベント名：沖縄ビーチスポーツフェスティバル2024（新規）

事業者名：沖縄ビーチスポーツフェスティバル実行委員会

沖縄ビーチスポーツフェスティバル2024実施報告書

### 1. 事業実施概要

#### 【事業目的】

《チャレンジしたい課題》沖縄県のビーチにおける「閑散期」の活性化  
《本事業によるアプローチ》フレスコボール、ビーチテニス、ビーチモルックという、誰でも楽しめるビーチスポーツの各競技横断型イベント「沖縄ビーチスポーツフェスティバル2024」を開催。ビーチ閑散期における沖縄へのスポーツツーリズムを促進させます。加えて、2月の沖縄で競技大会を開催できることを他のビーチスポーツ競技団体に示すことで、「ビーチスポーツ×冬の競技大会開催」という新たな観光需要を掘り起こします。

#### 【事業内容】

- ・主催 沖縄ビーチスポーツフェスティバル実行委員会
- ・後援 豊見城市、豊見城市商工会、一般社団法人豊見城市観光協会
- ・実施日程 令和6年2月10日（土）、11日（日）
- ・実施場所 美らSUNビーチ（沖縄県豊見城市字豊崎5-1）
- ・実施内容 ビーチスポーツ3団体による横断型イベント
- ・参加料 エントリー6,000円/体験会無料
- ・集客人数 合計250人

	県内	県外 (国内)	県外 (海外)	付帯参加	合計
目標 (提案時)	300	500	0	200	1000
実績	100	100	0	50	250

#### ・集客人数増減理由

- ①・・・コロナ禍が明け、プロ野球キャンプや3連休であることも重なり、旅費の想定以上の高騰により出場を見送る選手が多く、それに付随する形で帯同者の人数も減少しました。
- ②・・・ビーチモルックに関して、シーズンポイント反映の制度が導入されておらず、参加人数が伸び悩む結果となりましたが、来年以降は制度導入に伴って参加人数増の見込みです。
- ③・・・県内での抜群の知名度を誇る「ありんくりん」がアンバサダーに就任したこともあり、SNSで知って会場に足を運んだという県内在住者が一定数いました。
- ④・・・豊見城市SNSアンバサダーの「バナナおじさん」、「meguchura」のInstagramを使った広報協力が実現。会場にもお越しいただき、豊見城市内の広報に繋がりました。
- ⑤・・・キッチンカーが入り、会場全体盛り上げを演出することによって、美らSUNビーチ利用者にも興味を持って頂き、競技体験にも参加して頂きました。
- ⑥・・・エントリー促進のために「賞金制」を導入したことで、募集期間途中にて一定の参加者増がありました。

## 8.採択事業概算報告書

### (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

沖縄ビーチスポーツフェスティバル2024実施報告書

#### 2. 実施報告

※画像は10点程とします。それぞれ画像の説明文を簡潔に記載してください。

##### ① イベント実施



##### フレスコボール

「FRESCOBALL JAPAN TOUR 2024」開幕戦、『フレスコボールオキナワカップ2024<SPRING CAMP>』を開催。開幕戦という独特の雰囲気の中で多くのベストラリーが生まれました。



##### ビーチテニス

JFBT公認公式戦として、「沖縄ビーチスポーツフェスティバル ビーチテニス大会」を開催。男子、女子カテゴリそれぞれTOP選手が集まりJFBTランキングポイントを争いました。



##### ビーチモルック

「第1回ビーチモルック沖縄大会」を開催。普段ビーチ以外でモルックを行っている選手が、ビーチならではのスキットの動きに対応しながら、ハイレベルな戦いが繰り広げられました。



##### チャレンジマッチ

各競技の選手が普段触れていないビーチスポーツにチャレンジし、「KING OF BEACH SPORTS」を目指しました。戦略や性格がプレーに顕著に出ていて、見応えのある試合となりました。

# 8.採択事業概算報告書

## (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

### 2. 実施報告

※画像は10点程とします。それぞれ画像の説明文を簡潔に記載してください。

#### ②募集広告/広報



#### HPを作成

12月15日に、HPを公開。初開催となった当イベントにおいてHPの存在は想像以上に大きく、必要な情報を告知することが出来ました。



#### ポスターを作成

B2ポスターを計50枚印刷。豊見城市、豊見城市商工会、豊見城市観光協会、美らSUNビーチ、ツーボックス、フレスコボール協会、ビーチテニス連盟、モルック協会に依頼し、各事務所やお店に掲載して頂きました。



#### プレスリリースを発信(計4回)

- 9月22日 開催リリース
- 11月27日 アンバサダーリリース
- 12月15日 HP公開リリース
- 1月29日 エントリー促進リリース

# 8.採択事業概算報告書

## (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

### 2. 実施報告

※画像は10点程とします。それぞれ画像の説明文を簡潔に記載してください。

#### ③収益化に向けた取組



#### スポンサーメニュー作成

- ▼大会サポーター（2万円）
- ▼ブロンズサポーター（5万円）
- ▼シルバースポンサー（10万円）
- ▼ゴールドスポンサー（20万円）

各競技間の値段設定やルール決めや参加促進にリソースを割き、営業活動ができず、今回はスポンサーを獲得する事が出来なかった。

#### ④その他



#### キッチンカー

豊見城市アンバサダーの「バナナおじさん」が中心になって頂き、計4台のキッチンカーが参加していただきました。

- ・BANZAIバナナ
- ・Funny's
- ・BOATAMA
- ・BOATAMA



#### トロフィー

沖縄における木工作家のパイオニア・屋宜政廣氏が主宰する工房「島変木（とうへんぼく）」が当イベントのトロフィーを制作していただきました。沖縄県産木の、アカギとリュウキュウマツを使用した特製トロフィーです。



#### ノベルティタオル

日常生活における使用率と汎用性がより高いノベルティを採用することで、イベント認知率や定着率を上げ、次年度以降のイベントに繋げたいと考え、銭湯タオルを採用。選手にも使い勝手が良いと、大変評判の良いノベルティとなりました。

## 8.採択事業概算報告書

### (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

沖縄ビーチスポーツフェスティバル2024実施報告書

#### 3. 事業実施結果

企画提案書に記載された取組に対しての結果・成果を記載してください。

※上記の記載と併せて沖縄で開催することの意識やメリットを箇条書きで記載してください。

##### 【取組に対しての結果・成果】

- ・ビーチスポーツの横断型イベントという、初の試みを滞りなく実施することが出来ました。
- ・普段行わないスポーツを心から楽しんでいる姿が見え、参加者満足度の高いイベントとなりました。
- ・始めるハードルが低い3競技ということもあり、多くの一般客に体験していただくことが出来ました。
- ・PRTIMESを活用した定期的なプレスリリースで認知拡大に繋げる広報活動が出来ました。
- ・選手のエントリーが想定よりも低い数値となりました。
- ・スポンサーを獲得する事ができませんでした。

##### 【沖縄で開催する意識やメリット】

- ・ビーチスポーツのオフシーズンにあたる2月にイベントを開催することが出来ました。
- ・沖縄ならではの白く柔らかい好環境で選手がプレーすることが出来ました。
- ・沖縄県は国内随一の「観光」要素があり、イベント参加の後押しになることを確認出来ました。
- ・2日目は、沖縄観光も楽しんで頂くため、早めの終了となるようなタイムテーブルを作成しました。
- ・「沖縄でのワーケーション」の魅力を伝えることも意識し、実際に、スポーツイベント、ワーケーション、観光と沖縄を最大限に楽しんだ選手が何人もいました。

#### 4. 事業総括（自走化に向けての課題と今後の展望）

今年度の実施の内容について、準備、実施、終了後の各段階における課題と改善策について記載してください。これまでの成果と反省などを踏まえて、来年度以降の取組の方向性（特に事業の継続性や拡大、自走化へ向けた方策）や、目標・課題などの記入をお願いします。

また、上記の内容と併せて自走化に向けて、今後の展望も箇条書きで記載してください。

※自走化に向けて次年度以降、補助金以外の収入と支出の差額を減らしていく必要がある為

##### 【課題】

##### 1. エントリー数増

###### <改善策>

###### ①エントリー時期の早期化（目標＝10月発表）

旅費高騰もあり、エントリー促進時期における参加意思決定に一定の鈍化が感じられたため。来年以降は、10月にエントリーを開始し、旅費負担を下げられるようにしたい。

###### ②エントリー費の明確化・丁寧な説明

通常のエントリー費に各団体差があったことから、調整に日数を要し、エントリー開始が遅れた背景も。参加賞や大会の魅力など、付加価値を早々に周知させたい。

###### ③ビーチモルックの広報体制強化

競技人口や人気の高さから、集客の柱であるビーチモルックが、一番参加者の少ない結果に。選手へ広報する手段に限られたことが主な要因だが、個人選手登録制度を整備中であり、来年度は選手へのきめ細かい広報・コミュニケーションが可能に。また「ビーチモルック」に限定したツアーも実施予定。参加者が増える目処が立っています。

##### 2. スポンサー獲得

###### <改善策>

- ①初年度ということもあり、ルールやランキングルール調整にリソースを割くことに。実績もできたため、次年度からは地域企業中心にスポンサー営業をかけていく所存です。

##### 【今後の展望】

##### 1. 競技数の増加

###### <具体的な目標・施策等>

- ①参加団体を増加させ、さらに参加者を増やしていく予定です。（候補：ラウンドネット）

- ②ビーチフラッグという誰でも参加することが可能で楽しむことができる競技を追加予定です。

5

## 8.採択事業概算報告書

### (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

イベント名：ジャパンウィンターリーグ トライアウト（定着）  
事業者名：株式会社ジャパンリーグ

ジャパンウィンターリーグ実施報告書

#### 1. 事業実施概要

##### 【事業目的】

①不運な怪我やちょっとしたタイミングでチャンスを潰し、野球で活躍するという機会がなくなった選手が様々な年齢・場所で多くいます。そういった選手に真剣勝負で野球をプレーする場所を提供することが目的です。

そうすることで選手は報われ、また野球界全体としての底上げに繋がることを信じています。

「陽の目を浴びていない場所に光を」という運営方針の下、野球界にプロともアマとも異なる、「第3のコミュニティ」を沖縄に作ります。

##### 【事業内容】

- ・主催 株式会社ジャパンリーグ
- ・実施日程 2023年11月25日(土)～12月24日(日)
- ・実施場所 コザしんきんスタジアム
- ・実施内容 長期トライアウトリーグ
- 参加料 44万円
- ・集客人数 合計56人

	県内	県外 (国内)	県外 (海外)	付帯参加	合計
目標 (提案時)	10	50	20	10,000	80
実績	7	28	21	1,000	56

##### ・集客人数増減理由

###### ①県内参加者数の伸び悩み

1年目からの県内での露出が増えていることから参加者の増加が期待されたが、増加を期待していた高校生の参加者がゼロ人だったことから伸び悩んだ。

###### ②県外参加者数の伸び悩み

まだリーグに参加して進路を獲得ができるという文化が野球界全体に浸透していないことにより伸び悩んだ。期待していた大学生の参加者の増加がなく、独立リーグ、社会人クラブチーム、所属なしの選手からの参加のみに留まった。



## 8.採択事業概算報告書

### (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

ジャパンウィンターリーグ実施報告書

#### 2. 実施報告

##### ① イベント実施



##### ・参加者

15歳以上の野球経験者が日本、韓国、アメリカ、カナダ、オーストリア、フランス、ドイツ、イギリス、アルゼンチン、ハンガリー、オランダの11か国から集まりました。



##### ・31位球団のスカウト数

MLB、NPB、独立リーグ、社会人野球の31球団のスカウトが来ました。



##### ・契約者数

BCリーグ、四国アイランドリーグなど国内独立リーグに9チームに20人が契約した。

## 8.採択事業概算報告書

### (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

ジャパンウィンターリーグ実施報告書

#### 2. 実施報告

##### ②募集告知・広報



##### ・海外選手集客

1、BBJOとの業務提携  
欧米を中心に人気の野球選手向けのスカウトと選手をマッチングサービスのBaseball Jobs Overseas(<https://baseballjobsoverseas.com/>)と業務提携を結び、海外からの選手に向けてプロモーションしました。

##### ・SNS、HPを活用したマーケティング

ジャパンウィンターリーグ公式のFacebook、Instagram、Twitter、YouTube、TikTokを開設し、メインターゲット層である22歳～24歳にリーチさせる。決定事項(ホテル、球場、スケジュール)のアナウンスを行いました。

##### ③収益化に向けた取組。



##### ・JICA×JWL 「世界の野球選手に光を」プロジェクト

独立行政法人国際協力機構(JICA)と提携し、世界の選手に光を与えるプロジェクトを実施しました。



##### ・12/6(水) リアル野球盤

沖縄市スポーツ協会の皆様、おきなわスポーツイノベーション協会株式会社様のご協力により市民にTボール大会を展開し交流していただきました。

## 8.採択事業概算報告書

### (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

ジャパンウィンターリーグ実施報告書

#### 3. 事業実施結果

【取組に対する結果・成果】

- ・56人選手が参加  
社会人、独立リーグなどから。最年少は16歳、最年長は31歳。キャリアも志も異なる選手たちが全国から集まり、1カ月のチームを作った。
- ・20人の選手が契約  
契約した選手数。BCリーグ、四国アイランドリーグなど国内独立リーグに9チームに20人が契約した。
- ・31球団がスカウト  
ジャパンウィンターリーグに31球団のスカウトが視察しました。NPB、独立リーグ、海外プロ野球、社会人などがリモートスカウティング含めて選手に注目した。
- ・10か国の選手が参加  
韓国、オーストリア、フランス、アメリカ、イギリス、カナダ、ドイツ、ハンガリー、アルゼンチン、オランダの10か国の選手が参加しました。

【沖縄で開催する意識やメリット】

- ・温暖な気候で海外からの選手集客
- ・野球関係者へ沖縄の価値をアピールすることができる。

#### 4. 事業総括（自走化に向けての課題と今後の展望）

【課題】

- ・観客集客実績が少ないこと
- ・さらなる参加者の増加を見込めること

【改善案】

- ・県内認知度を上げていくための施策
  - －実行委員会での情報拡散
  - －テレビ、新聞での露出
- ・県外認知度を上げて行くための施策
  - －BSフジとのPR施策
  - －トップチームのリーグへの参加
  - －継続した自社SNSでのPR

年	参加選手数	うち海外選手	コンテンツA	コンテンツB	1カ月間延べ観光客数
2022	66人	-	-	-	10,000人
2023	56人	21人	文化発信イベント	-	20,000人
2024	80人	40人	文化発信イベント	別リーグ	30,000人
～	150人	80人	文化・経済発信イベント	別リーグ	～
2032	300人	180人	文化・経済発信イベント	別リーグ	100,000人

4

## 8.採択事業概算報告書

### (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

イベント名：ジャパンウィンターリーグ アドバンス（付帯）  
事業者名：株式会社ジャパンリーグ

ジャパンウィンターリーグ実施報告書

#### 1. 事業実施概要

##### 【事業目的】

①不運な怪我やちょっとしたタイミングでチャンスを潰し、野球で活躍するという機会がなくなった選手が様々な年齢・場所で多くいます。そういった選手に真剣勝負で野球をプレーする場所を提供することが目的です。

そうすることで選手は報われ、また野球界全体としての底上げに繋がることを信じています。

「陽の目を浴びていない場所に光を」という運営方針の下、野球界にプロともアマとも異なる、「第3のコミュニティ」を沖縄に作ります。

##### 【事業内容】

- ・主催 株式会社ジャパンリーグ
- ・実施日程 2023年11月23日(木)～12月17日(日)
- ・実施場所 宜野湾市立野球場、ANA BALLPARK 浦添
- ・実施内容 長期トライアウトリーグ
- 参加料 35万円+税
- ・集客人数 合計43人

	県内	県外 (国内)	県外 (海外)	付帯参加	合計
目標 (提案時)	5	45	30	10,000	80
実績	2	30	11	1,000	43

##### ・集客人数増減理由

###### ①県内参加者数の伸び悩み

昨年は4名で県内社会人野球チームの参加が大きく増加が見込めるかと計画していたが、減少した。社会人チームの業績と、時期の理由により不参加となるチームが多かった。

###### ②NPB、CPBL、JABAの選手の参加増加がなかったこと。

独立リーグと提携し、前回にはなかったプロの選手の参加を呼び込むことができたが、社会人の増加がなかったことと、商談を続けていた日本プロ野球と台湾プロ野球の参加がなかったことが要因。

## 8.採択事業概算報告書

### (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

ジャパンウィンターリーグ実施報告書

#### 2. 実施報告

##### ①イベント実施

#### 「JAPAN WINTER LEAGUE ADVANCE 2023」

##### 実践目的のスキルアップリーグ

【参加チーム】トヨタ自動車、HONDA、HONDA鈴鹿、パナソニック、沖縄電力

徳島インディゴソックス、群馬ダイヤモンドペガサス、大分ヒーリングス、大阪ゼロクワイルズ、兵庫ブレーバース、土別サムライブレイズ、美明ブラックダイヤモンド



### ADVANCE 3つの特徴

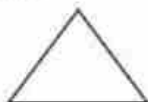
#### ①出場機会の提供

選手には全日程参加の場合約1ヵ月の期間中18試合の連続した実践環境を提供します。大会などではチャンスが少なかった選手が出場機会を得られる絶好の機会となります。

#### ②野球界のプラットフォーム

世界中から様々なバックボーンのプレーヤーが参加します。

野球選手はもちろん指導者、アナリスト、アナウンサー、トレーナーなど野球に関わる様々なプレーヤーが集い、化学変化が起きるプラットフォームです。



#### ③視野を広げる

他チーム選手などの様々なバックグラウンドを持った選手とチームメイトとなりプレーや共同生活をします。社内や部内などのコミュニティのみで生活の大部分を過ごす選手にとって社会的な視野を広げるチャンスになります。

## 8.採択事業概算報告書

### (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

ジャパンウィンターリーグ実施報告書

#### 2. 実施報告



サバナ・バナナズでもプレーするイーサン・スクイージャ投手(26)  
最速156キロでJWL2023MVPに輝きました。



最終日は海外選手VS日本人選手のエキシビションマッチを行いました。



オリックスバファローズを自由契約となった  
谷岡楓太投手(22)

## 8.採択事業概算報告書

### (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

ジャパンウィンターリーグ実施報告書

#### 2. 実施報告

##### ②募集告知・広報

###### (1)BSフジとの業務提携

全国的なメディアであるBSフジと業務提携を結び、プロモーション、番組制作を行い、全国的な広告活動を行い、県外からの誘客に繋げました。

###### (2)海外メディアとの連携

日本のWBC優勝で世界から日本野球界への注目度が高まる機運を逃さずに、まずはアメリカ・台湾メディアと連携をして、イベント前・中・後3回に分けてニュース発信を仕掛けました。

###### (3)ネットメディアでのライブ中継

自社媒体のYOUTUBEチャンネルのみならず、ソフトバンク株式会社のコンテンツ「ベースボールLIVE」でのライブ中継しました。「ベースボールLIVE」とは4,700万人のソフトバンクユーザーが月額使用料で視聴できるコンテンツです。パ・リーグや交流戦は全試合ライブ中継で視聴ができます。ジャパンウィンターリーグアドバンスを視聴いただく機会が増え、県内への誘客に繋げました。



##### ③収益化に向けた取り組み



###### ・チケット販売、広告掲出

日本全国のローソン（ローチケ）、ファミリーマート（イープラス）でチケット販売を行いました。沖縄県内のファミリーマートでサインージ広告とポスター掲出を行い、沖縄県内のローソンでもプレイガイドポスターの掲出を行いました。

## 8.採択事業概算報告書

### (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

ジャパンウィンターリーグ実施報告書

#### 2. 実施報告

##### ④その他

##### ・12/6(水) リアル野球盤

沖縄市スポーツ協会様、おきなわスポーツイノベーション協会株式会社様のご協力により市民にTボール大会を展開し交流していただきました。



##### ・12/23(土) キャッチボールクラシック

JPBPA(日本プロ野球選手会)が主催するキャッチボールクラシックと野球教室を行い、周辺地域の少年野球チームを集め、青少年育成を行いました。





## 8.採択事業概算報告書

### (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

ジャパンウィンターリーグ実施報告書

#### 3. 事業実施結果

【取組に対しての結果・成果】

・7球団の独立リーグから選手が参加  
徳島インディゴソックス、群馬ダイヤモンドペガサス、大分ビーリングス、大阪ゼロロクブルズ、兵庫レイバース、土別サムライブレイズ、美唄ブラックダイヤモンドから選手が参加しました。

・5球団の社会人企業チームが選手参加  
トヨタ、ホンダ、ホンダ鈴鹿、パナソニック、沖縄電力とトップアマのチームが参加しました。

・元プロ野球選手の参加  
オリックスバファローズを自由契約となった谷岡選手が参加しました。

・10人の海外選手が参加  
最速156キロの選手が参加しました。

【沖縄で開催する意識やメリット】

- ・温暖な気候で海外からの選手集客
- ・野球関係者へ沖縄の価値をアピールすることができる。

#### 4. 事業総括（自走化に向けての課題と今後の展望）

【課題】

- ・参加選手数を増やすこと(NPB、独立リーグ選手、海外の選手)
- ・経費コントロールをすること
- ・スポンサー収入、観客集客、その他収入を増やす。

【今後の展望】

「JAPAN WINTER LEAGUE ADVANCE 2024」  
実践目的のスキルアップリーグ 11/23～12/19

【参加対象者】

NPB（育成）、CPBL、KBO、CBL、独立リーグ、  
JABA（歴代参加チーム：トヨタ自動車、HONDA、HONDA鈴鹿、東京ガス、パナソニック、沖縄電力）

年	参加選手数	うち海外選手	コンテンツA	コンテンツB	1か月間延べ 観光客数
2022	-	-	-	-	10,000人
2023	43人	11人	文化発信 イベント	-	20,000人
2024	80人	40人	文化発信 イベント	別リーグ	30,000人
～	100人	80人	文化・経済 発信イベント	別リーグ	～
2032	200人	180人	文化・経済 発信イベント	別リーグ	100,000人

10

## 8.採択事業概算報告書

### (2) 事務局による採択イベントの視察

#### 【首里城復興チャリティーサイクリングイベント】

2023年12月16日（土）視察

首里城復興祈念コース30KMを視察。グッズ販売もされており、参加者もファンライドを楽しんでいた。また、グループに分かれ、安全管理も徹底していた。



#### 【ハンドボール冬季合宿】

2024年1月24日（水）視察

ANA浦添アリーナ（体育館）での合同練習を視察。台湾・シンガポール・福岡から選手が集まり、練習風景は賑やかではあったが、観客がおらず、盛り上がりには欠けていた。



## 8.採択事業概算報告書

### (2) 事務局による採択イベントの視察

#### 【ビーチスポーツフェスティバル】 2024年1月10日（土）視察

無料体験やキッチンカーも出店しており、ビーチ利用者も参加しやすい環境づくりであった。



#### 【ジャパンウィンターリーグ】 2023年12月6日（水）視察

コザしんきんスタジアムとANA浦添ボールパークにて試合が実施されていた。視察日に「リアル野球盤」が行われていたこともあり、海外選手と日本選手・観客との交流を見ることができた。2球場で実施されている違いが分からず、観客も数えられる程度だった。



## 9. 事業総括

### (1) スポーツイベント支援事業実施の成果及び課題等

#### 【株式会社 ジャパンリーグ】

##### 成果

- ・県外・海外からの参加者が多く、ツーリズムの観点から滞在中の経済効果は高いイベントである。
- ・SNS（インスタグラム・X）が頻繁に更新をされていたこともあり、情報発信力が高かった。
- ・JICAとの連携等、ニュースにも取り上げられており、注目度は高かった。

##### 反省

- ・来場者と選手との交流機会があったものの、全体を通して来場者が少なく、イベントとしての盛り上がり小さかった。
  - ・台湾ウィンターリーグと時期が重なったことで、プロの選手の参加がなく、注目度が低かった。
- 今後自走化していくためにも、台湾ウィンターリーグとの差別化を図り、イベント前のPRに注力していくべきである。
- ・収支において課題が多く、担当者（選任）を置いて、対応すべきであると考ええる。

#### 【株式会社 琉球コラソン】

##### 成果

- ・海外からの参加者が多く、ツーリズムの観点から滞在中の経済効果は高いイベントである。
- ・県内ではジュニアチーム、海外では台湾・シンガポール・マカオからの参加もあり、参加者の目標数を上回った。
- ・沖縄県はハンドボールの競技レベルが高く、沖縄で開催することで、今後参加者も増える可能性がある。

##### 反省

- ・1月のハンドボールキャンプを定着させるためにも、県外参加者や観客数を増やす取り組みが必要である。そのためにもきっかけづくり（国内トップチームの参加等）が必要だと考える。
- ・告知期間が短く、会場の確保や参加チームの確保など前広に動く必要がある。

#### 【ビーチスポーツフェスティバル実行委員会】

##### 成果

- ・沖縄のビーチを大いに活用できるイベントである。また、競技を追加していくことも可能であり、本イベントの競技人口や帯同者も増えることで、沖縄経済への貢献に期待できるイベントである。
- ・地域（豊見城市）との連携もあり、キッチンカー出店等の賑やかしがあった。

##### 反省

- ・参加人数が当初の目標より大幅に減少した。2月の入域者数が多い時期での開催ということで、イベントに参加するメリットを明確に周知していくことが集客増加に繋がると考える。
- ・主にフレスコボール協会のみが動いていたように見受けられる。また、当初予定をしていなかった会場費発生やスポンサーが獲得できなかったこともあったので、3競技団体で連携しての体制強化や、役割を明確にする必要がある。

#### 【一般社団法人サイクルツーリズム推進協会】

##### 成果

- ・首里城復興のイベントということもあり、県内からの参加者は目標数を上回った。
- ・ファンライドということで、複数のコースに分かれており、初心者でも参加しやすいイベントであったと思う。

##### 反省

- ・目標より大幅に海外・県外からの参加人数が減少した。
- ・せっかく「首里城復興」という目的があるイベントなので、首里城に関連した付加価値つけ、効果的なプロモーションを行う必要があると考える。
- ・県内を周遊するため、地域色が強いイベントでもある。地域と連携し、経済効果を創出できれば良いと考える。

## 9.事業総括

### (2) 本事業における事務局総括

#### 【成果】

・本事業においては新規枠3事業者、定着枠1事業者で合計4事業者の補助を行い、すべての事業者が無事にイベント実施を終了することができた。3月に行った事業者報告会ではそれぞれの事業者が今年度の課題を明確に整理しており、次年度以降の開催に向けても良い傾向であると感じた。

・今年度は、例年本事業を実施するにあたり課題としている「事業者精算」に注力して対応を行った。証憑書類のファイリング見本の作成、Dropbox（共有フォルダ）の導入、イベント実施前の中間監査等の実施により、業務効率ならびにスムーズな精算対応を行うことができた。

・ジャパンリーグにおいては、イベント実施期間が長期となり、県内での消費額が平均約302,740円となった。また、コロナウイルスにより制限を受けないイベント開催となり、ジャパンリーグと琉球コラソンは、海外からの参加者も多く、経済効果は高くなった。

#### 【課題】

・事業者とは都度コミュニケーションを取りながら進めてはいたものの、事業者から変更の報告がなかったこと等、より詳細に確認を行う必要があると課題に感じた。事業者によって、イベント実施や補助金制度に対する慣れの差を感じた。次年度以降も本事業を実施していくうえで、今一度事務局の役割を整理する必要があると考える。

・公募から応募までの時間が短く、体制が整わないため応募を辞退した事業者もあり、不備を含めても応募件数がコロナ時期より減った。事業者の準備期間を長く設定したほうが、より良い企画も出来上がると思うので、応募期間は1ヶ月程度設けたほうが良いと感じた。

・今後も継続して本事業を推進していくうえで、事業者には「補助金の在り方」を認識してもらう必要があると感じた。一般的な集客イベントと区別する上で「誘客」、「優位性」、「持続可能性」等の一定の条件を募集時に設けるなどを行うことで、企画の計画段階から事業者にはその趣旨に則った提案を準備してもらうことが可能となると感じた。

・また、補助の応募枠である「新規枠」と「定着枠」の2つについても、事業者に対して明確な説明を行う必要がある。例えばそれらの定義を“事業主体が同じ”、“イベント名が同様である”、“実施内容が同様”、などの条件を設けることで、3カ年を上限とする補助枠に明確な定義が可能となる。